

事業所名

こどもの家ひだまり いるま

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

10 月

5 日

法人（事業所）理念		全ての人が笑顔になれる社会の実現					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通して「人っていいな、人って楽しいな」を感じられる支援を大切に、人への興味関心を高めていきます。 1日を通して身辺自立の獲得、生活全般の土台作りを目指します。 					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 朝夕の支度、お着替え、食事、トイレ等、身辺自立に関する生活全般の生活動作の獲得を目指します。 継続して通所することで、運動、食事、睡眠を整え、家庭も含めた生活リズムの安定を図ります。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 室内活動や外遊びを通して様々な粗大運動を取り入れ、さまざまな体の使い方の習得を目指します。 感覚遊びや室内活動の中で、将来の余暇活動につながる好きなものや好きなこと探しを行います。 大人やお友達との遊びの中で遊具の順番を待つ、おもちゃの貸し借りをする等、遊びの中の社会性を育みます。 大人やお友達と一緒に取り組む活動を通して、相手に意識を向けることを促します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 大人やお友達との遊びの中で、大人と一緒に言葉やジェスチャーを使って伝える経験を積み重ねます。 「ねえねえ」やトントンと相手に呼び掛けてから伝えることで、「伝わった！嬉しい！」気持ちを育み伝えたい意欲へとつなげていきます。 大人の声掛けと共に指さし、絵カード、実物の提示等、個々に合わせた視覚支援を行い、生活の中で使われる言葉の理解、概念理解へとつなげていきます。 子供たちの好きな話に対して耳を傾け、やりとりの中で会話の幅を広げていきます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 大人やお友達との遊びの中で、大人と一緒に言葉やジェスチャーを使って伝える経験を積み重ねます。 「ねえねえ」やトントンと相手に呼び掛けてから伝えることで、「伝わった！嬉しい！」気持ちを育み伝えたい意欲へとつなげていきます。 大人の声掛けと共に指さし、絵カード、実物の提示等、個々に合わせた視覚支援を行い、生活の中で使われる言葉の理解、概念理解へとつなげていきます。 子供たちの好きな話に対して耳を傾け、やりとりの中で会話の幅を広げていきます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 大人やお友達との遊びの中で、大人と一緒に言葉やジェスチャーを使って伝える経験を積み重ねます。 「ねえねえ」やトントンと相手に呼び掛けてから伝えることで、「伝わった！嬉しい！」気持ちを育み伝えたい意欲へとつなげていきます。 大人の声掛けと共に指さし、絵カード、実物の提示等、個々に合わせた視覚支援を行い、生活の中で使われる言葉の理解、概念理解へとつなげていきます。 子供たちの好きな話に対して耳を傾け、やりとりの中で会話の幅を広げていきます。 					
家族支援		連絡帳や電話、面談等を通してお子様の情報共有を行います。 参観や個別療育を通して家庭での関わりに対して相談支援を行います。			移行支援		就園先への情報提供や就園後の情報共有等を通して、スムーズな移行を支援します。 ライフステージの切り替えに合わせ、関係機関への情報提供を行います。
地域支援・地域連携		必要に応じて併用先への訪問や電話での情報共有等の連携を図ります。			職員の質の向上		法人内外での勉強会、研修への参加を行います。 日々の支援前後、毎月のミーティングの中で情報共有や支援方針の確認を行います。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 遠足 夏祭り 卒園式 消防体験 ひだまり会 卒園児遠足 					